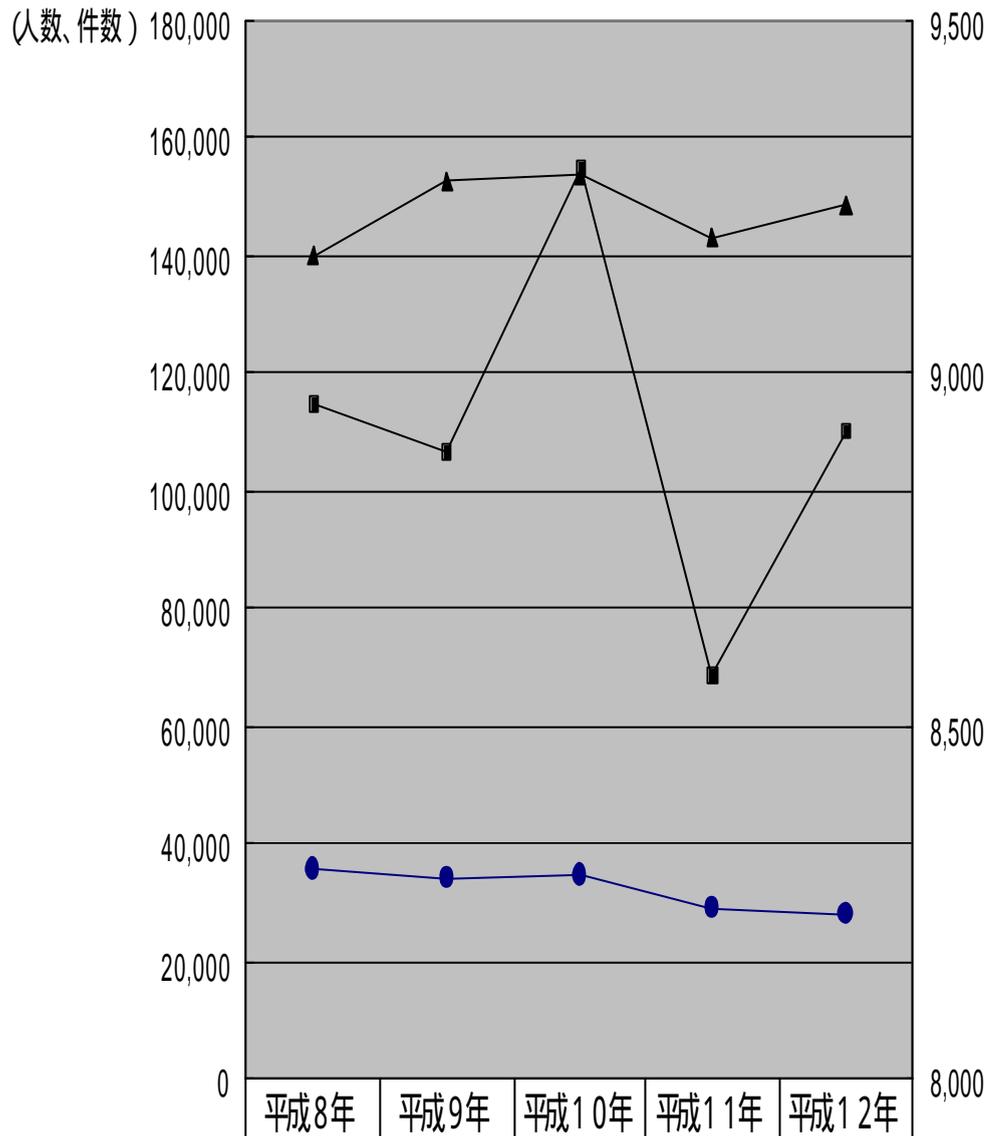


政策の名称	少年非行防止対策（暴走族対策用資機材の整備）		
政策の内容・目的	共同危険行為の検挙に不可欠な暴走行為の採証活動を的確かつ効果的に行うための暴走族採証用器材等を整備し、暴走行為の検挙・封圧を図るものである。		
必要性	<p>その構成員の多数が少年である暴走族は、依然深夜における爆音暴走、違法な競争行為等を繰り返し、一般交通や周辺住民に多大な危険と迷惑を及ぼすとともに、一般車両への襲撃、警察官に対する公務執行妨害事件を引き起こすなど、ますます粗暴化、凶悪化している。</p> <p>また、複数のグループが合同・連合して、場合によっては複数県にわたる広域暴走行為を行うとともに、検挙逃れのため、アリバイ工作を行うなど、その活動は悪質・巧妙化しており、検挙活動もより困難度が増している。</p> <p>暴走族の爆音暴走行為等に対する110番通報は増加傾向（別紙1）にあり、国民の暴走族取締り要望には根強いものがある（別紙2）。また、国会等において暴走族対策の強化は頻繁に取り上げられ、社会的な問題としてクローズアップされている状況がある（別紙3、4）。</p> <p>このような社会的なニーズを受けて、本年2月には暴走族対策関係8省庁において申合せ（「暴走族対策の強化について」）がなされ、取締りの強化、加入防止・離脱指導、車両の不正改造防止等に向けて関係省庁と総合対策を推進しており、警察としては特に取締りの強化を重点に取り組んでいく必要がある。</p>		
達成効果等	<p>強力なストロボを持つ連写式カメラ及び夜間照明が不要で車両による採証活動中の振動によるブレの影響がないデジタルビデオ採証システムは、より鮮明な画像を撮影可能とするものであり、車両や被疑者の特定、共同危険行為の立証が従来と比べ容易になる。</p> <p>また、車両停止器材は、衝撃を吸収する素材（クッション、ネット）からなり、安全性を確保しつつ暴走族を阻止することができ、暴走行為の封圧に効果を発揮するとともに、警察官の受傷事故防止にも資することとなる。</p> <p>これら器材を活用し、共同危険行為等の取締りを強化し、暴走行為の封圧、組織の解体を進めることにより、集団暴走行為による道路交通上の危険、深夜の爆音暴走に伴う騒音被害等の低減を図るとともに、構成員数、い集走行回数を減少させる。</p>		
予算額	<p>平成13年度予算額 81百万円</p> <p>平成14年度要求・要望額 165百万円（平成15年度前倒し）</p>		
効率性	これら器材が充実すれば、既存のマンパワーをより効率的、効果的に活用した取締り・捜査活動が可能となる。		
その他			
政策所管課	交通指導課	政策評価実施時期	平成13年8月

暴走族に係る諸指標



● 構成員数	35,278	34,051	34,411	28,652	27,764
▲ 110番入電件数	139,777	152,771	153,842	142,788	148,579
■ い集走行回数	8,953	8,888	9,290	8,572	8,916

暴走族取締りに係る社会的ニーズ

平成 11 年に実施した総理府の世論調査では、若者の運転による自動車の事故を防止するためにはどうすればよいと思うか聞いたところ、「無謀運転などに対する取締りや指導を強化する」を挙げた者の割合が 65.9% と最も高く、平成 4 年の同調査結果 (53.6%) と比べ 12.3 ポイント割合が増加している。

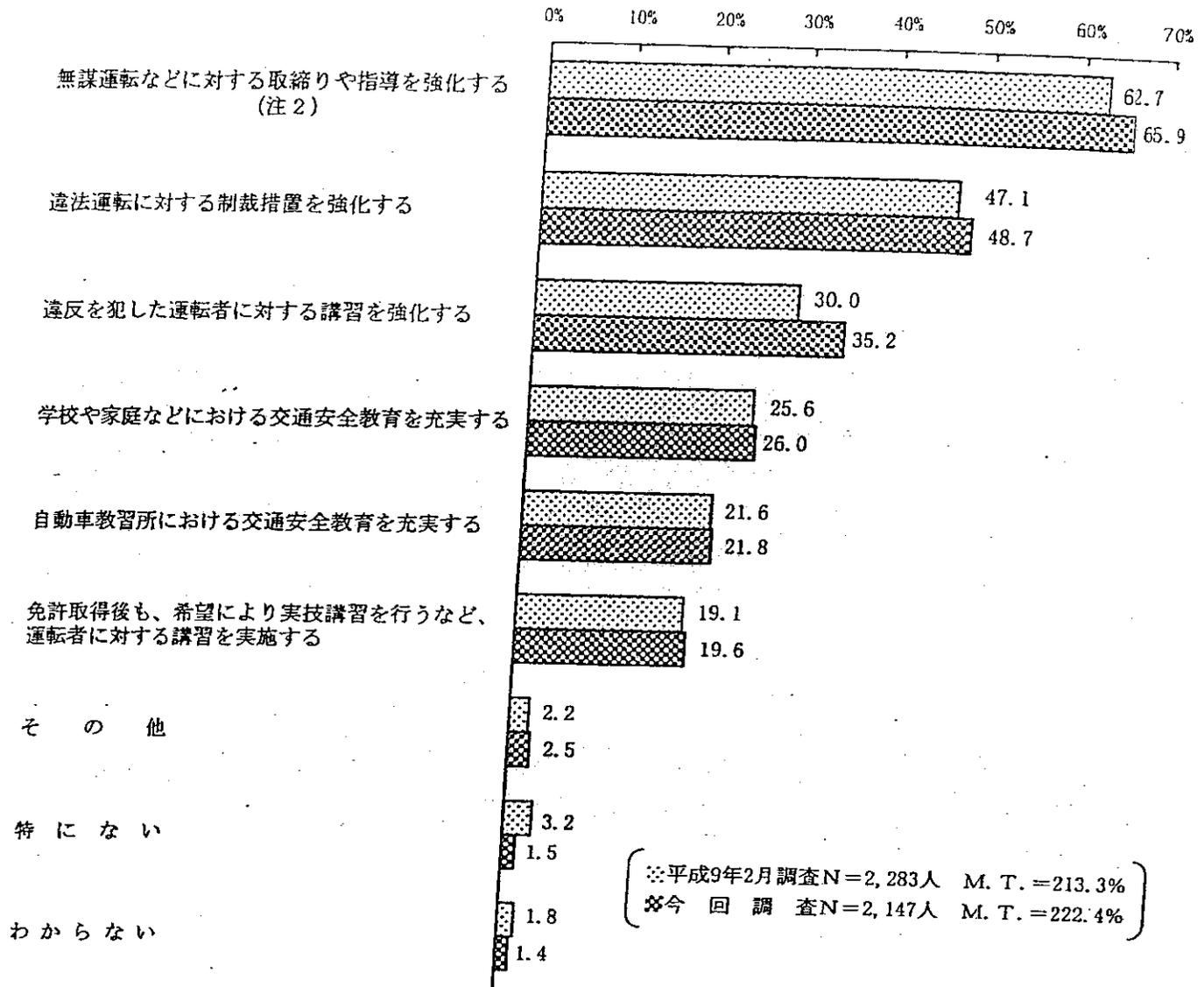
先の通常国会 (151 国会) では、暴走族に関連し、7 名の議員から、「暴走族対策の現状と今後の対応」についての内容で質問がなされるなど、関心の高さが伺える (別紙参照)。

その他、「暴走族の騒音を何とかして欲しい」、「暴走族取締りを強化して欲しい」、「罰則を強化して欲しい」等の警察庁等に対するメールが多数寄せられている。

第151回通常国会における暴走族に関連した国会質問者等一覧

No.	質問月日	委員会名	質問議員名
1	2月23日	衆・予算委	(公明) 上田 勇 議員
2	3月1日	衆・予算委	(自由) 藤島 正之 議員
3	5月25日	衆・内閣委	(自由) 塩田 晋 議員
4	6月1日	衆・国交通委	(21夕) 森田 健作 議員
5	6月1日	参・内閣委	(自保) 宮崎 秀樹 議員
6	6月5日	参・内閣委	(民主) 梁瀬 進 議員
7	6月13日	衆・内閣委	(自民) 古賀 正浩 議員

(複数回答)



(注1) 平成9年2月調査までは、「若者の運転による自動車の事故が増加していますが、あなたは、それを防止するためにはどうすればよいと思いますか。この中からいくつでもあげてください」と聞いている。

(注2) 平成9年2月調査までは、「違法運転や無謀な運転に対する取締りや指導を強化する」となっていた。